

**編集後記：**関東では今年の梅雨明けは平年よりも9日も早く、その総雨量も昨年の梅雨期間中に比べると半分にも満たないと報告され、渇水が心配です（この記事は7月中旬に書いています。掲載される頃には渇水の有無の結果も出ているのですね）。

私事で恐縮ですが、私のつとめる職場にある観測用の草地圃場（熱収支・水収支観測圃場）にも少なからずその影響が出ているようです。私は時々、仕事場の建物の屋上に上って、この圃場の全貌を眺めています。先日屋上に上り圃場を眺めていると、なんと圃場の中で調査をしている学生さんの姿がみえるではありませんか。ここの観測圃場では、生態グループが植生の遷移を調べているため、草は自然の状態にしてあり年に1回だけ草の刈取りが行われています。例年ですと、この時期には圃場内の植物の草丈は1mをはるかに超えるぐらいに成長しており、中で作業をしていても人影はまわりからはほとんど見えない状態です。仕事とはいえ、この時期の圃場はなかなか近寄り難いもの

を感じていました。正確なデータはまだないのですが、今までの年と比べると、今年は草丈があまり高くなっていないように見えます。植物の成長に関係のある要素のひとつである雨量に注目してみると、梅雨の期間の総雨量は、東京では145ミリと報道されています。圃場の雨量は156ミリであり、昨年の梅雨の総雨量の半分以下でした。これでは、植物にとってもつらそうです。梅雨の花であるアジサイもなんだか咲きそびれているように見えました。

その頃、ちょうど梅雨の明けていない福岡に行く機会があり、川には溢れんばかりの水が流れていました。私が滞在中の時にはほとんど雨には降られなかったのですが、福岡の友人の話を知ると、数日前にはバケツをひっくりかえしたような雨が降り、洪水になったり、それは大変だったそうです。この雨をなんとか調節して、全国まんべんとなく降らすことはできないのでしょうか。（新村典子）

## 「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)  
 編集委員 神沢 博(理事)・関口理郎(理事)  
 藤部文昭(理事)  
 石田純一・植田宏昭・大淵 濟  
 上出一美・金田昌樹・川島正行  
 木下 仁・小出 寛・小司禎教  
 佐藤晋介・住 明正・関山 剛  
 田口晶彦・高橋 宙・高山 大  
 中西幹郎・中村 尚・永山隆治  
 新村典子・板東恭子・別所康太郎  
 水野孝則・水野 量・山本 哲

地区編集委員 北海道 西 道夫・向川 均  
 東北 小柴 厚・岡本 創  
 関東 城尾泰彦・横井貴子  
 中部 永尾一平・渡辺真二  
 関西 和田高秀・山中大学  
 九州 金崎 厚・中島健介  
 沖縄 与那覇 勲  
 編集書記 遠藤和子

### 複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体（図書館も含む）は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル  
 学術著作権協会

Tel : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619  
 E-mail : naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

### Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan  
 Tel : 81-3-3475-5618, Fax : 81-3-3475-5619  
 E-mail : naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp